

## 2012 年度生協の飼料用米取扱量 2.7 万トン超に ～ 2010 年度と比べ、作付面積は 2.2 倍、量は 1.7 倍～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、会長：浅田克己）は、2013年3月末、全国31生協・事業連合の2012年度の飼料用米利用状況を取りまとめましたので、ご報告いたします。

2012年度は組合員の支持の高まりにより、作付面積・量とも2010年度と比べ大幅に拡大しました。

飼料用米とは、鶏や豚、牛などの飼料に利用する米のことで、この生産・利用により飼料自給率の向上や耕作放棄地の活用、環境保全型農業の推進などに貢献することができます。日本生協連と全国の生協は、飼料用米を給餌して生産された鶏卵や畜肉、牛乳の利用を広げることで日本の農業を支援していきます。

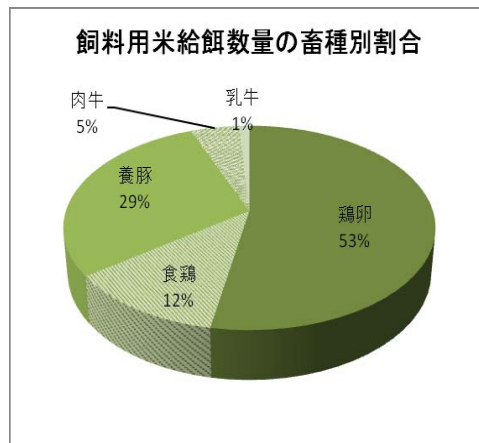
### ■作付面積は6,218haに拡大

- ・ 2012年度に生協で取り扱った飼料用米の作付面積は6,218ha（東京ドーム約1,323個分）と、2010年度実績2,764haの2.2倍に広がっています。
- ・ 飼料用米の給餌量は全国計で2万7,548トンとなり、2010年度の調査に比べ1.7倍になっています。
- ・ 全国の8生協・事業連合で飼料用米の給餌量が1,000トンを超えています。

### ■給餌量の半分以上が「鶏卵用」で、25生協・事業連合が利用

給餌量の内訳を畜種別に見てみると、

- ・ 鶏：鶏卵用に最も多く給餌されており、その量は1万4,562トン（全体の52.9%）で、取扱生協数は25生協・事業連合です。また、食鶏用と合わせると1万7,874トンに上り、全体の約3分の2を占めています。
- ・ 豚：給餌量8,014トン（29.1%）で、取扱生協数は20生協・事業連合です。
- ・ 牛：肉牛への給餌は1,378トン（5.0%）で、取扱生協数は6生協・事業連合です。乳牛は283トン（1.0%）で、取扱生協数は3生協・事業連合です。



【取扱商品例】～各生協の宅配商品カタログより



<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL: 03-5778-8106